

差別事象等一覧(前回審議会報告以降の事象)

事象種別	事象分類	年月日	場 所	発見者	内 容	対 応
発言	外国人	平成30年5月7日	市内小学校	担任	小学校において、席替えの際に、児童Aの席の後方に児童Bの席が決まったところ、Aが「外国人は嫌や」と発言した。また、後日校外の公園において、児童Aと児童Cと一緒に遊んでいたがトラブルとなり、AがCに対し「外国人のくせに調子に乗るなよ」と発言した。	学校は、児童Aに対して聞き取り指導を行い、Aは児童B・児童Cに対して謝罪を行った。また関係する児童の保護者とも連携を図り、引き続き子どもへのケアを行っている。また、事象の教訓化を図るため、在日外国人教育の推進と、教職員研修の実施に向け調整を図っている。
		平成30年5月12日				
発言	同和問題	平成30年5月17日	人権政策課への電話	職員	人権政策課への電話において、「八尾市に引っ越したいが、部落があるのか教えてほしい。周りが言っていたので」と発言があった。	職員が差別性を指摘し、差別をなくす取り組みについて説明しようとしたところ、「仕事の合間に掛けているのでまたかけ直します」と言われ、電話を切られた。後日、人権担当者に対し、情報共有を図り、所属内での事象対応について周知を依頼した。不動産に関わる事象のため、一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会東大阪八尾支部へ、会員への大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例の周知を改めて依頼した。